

生産情報公表豚肉の生産行程についての検査方法

制定 平成16年6月25日農林水産省告示第1223号

改正 平成18年2月28日農林水産省告示第210号

(適用の範囲)

第1条 この検査方法は、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（昭和25年法律第175号）第14条第2項の規定による認定を受けた生産行程管理者及び同法第19条の3第2項の認定を受けた外国生産行程管理者（以下「認定生産行程管理者等」という。）が行う生産情報公表豚肉の生産行程についての検査に適用する。

(生産行程についての検査)

第2条 生産情報公表豚肉の生産行程についての検査は、当該認定生産行程管理者等が豚の個体識別番号等（生産情報公表豚肉の日本農林規格（平成16年6月25日農林水産省告示第1219号。以下「日本農林規格」という。）第2条に規定する個体識別番号又は豚群識別番号をいう。以下同じ。）ごとに、次に掲げるところにより行うものとする。

- 一 当該豚の個体識別番号等ごとの生産行程の管理記録（「出生の年月日」、「管理者の氏名又は名称及び住所並びにその管理の開始の年月日」、「豚の飼養のための施設の所在地及び当該飼養施設における飼養の開始の年月日」、「とさつの年月日」、「豚の管理者の連絡先」、「と畜者の氏名又は名称及び連絡先並びに当該豚がとさつされたと畜場の名称及び所在地」、「管理者が給餌した飼料の名称」、並びに「管理者が使用した動物用医薬品の薬効別分類及び名称」についての記録をいう。以下同じ。）の作成及び保管が適正であることの確認
- 二 当該生産行程の管理記録が当該豚の個体識別番号等に係るものであることの確認
- 三 当該豚の個体識別番号等に係る生産の方法が日本農林規格第3条に規定する生産の方法についての基準に適合するか否かについての当該生産行程の管理記録の調査による確認
- 四 当該生産行程の管理記録が認定生産行程管理者等に正確に伝達されていることの確認